

ヤング・スピーチコンテスト&講演会 働く女性たちはいま…… 経済的自立をめざして

「働き方」も「働くこと」の意味・形態も一様でない時代、世界に目を向けると、女性の貧困も大きな問題です。今回はルワンダの人々を支援する日本女性の講演を交じえ、今改めて働くことと生きることについて一緒に考える機会にしたいと思います。

- 日 時 2017年(平成29)年**10月14日(土)** 13:30~16:40
- 会 場 ホテル福岡ガーデンパレス (〒810-0001 福岡県福岡市 中央区天神4丁目8-15)
- 入 場 無料※当日参加可
- 主 催 特定非営利活動法人日本BPW連合会 担当:BPW福岡クラブ「福岡虹の会」
参加申込 mail: miurak@kyudai.jp FAX: 092-735-2792

第1部

13:40~

ヤング・スピーチコンテスト テーマ「私と仕事・職業」

20~30代の福岡の女性たち5人が熱く語ります。

第2部

14:20~

講演

「50代からの挑戦——ルワンダの人々とともに」

講師:津田久美子さん(HAT de Coffee & Banana 代表)

50代後半で一念発起、大使館勤めを機にアフリカへ。舞台は、凄惨をきわめた内戦のあと国家再建の途上にあるルワンダ。経済格差に苦しむ農民を支援したいと「エコ・バナナペーパー」を開発し、新たな雇用の創出に汗を流した話をしてもらいます。

「行動を起こすのに、年齢、経験は関係ない!」そういきる津田さんのお話をお聞きください。

●津田久美子(つだ・くみこ)氏プロフィール

1948年生まれ。東京都港区出身。千葉県松戸市在住。1999~2006年、駐日エチオピア共和国大使館に勤務(大使秘書)。2005年、NPO法人ハーベストタイム(HAT)を設立。東アフリカ産コーヒーを紹介・販売し、その収益を原資として、3カ国(エチオピア、ルワンダ、マラウイ)の貧困に苦しむ農民の生活、教育の向上をめざす。2011年、格差が広がるルワンダで雇用創出を目的に、バナナペーパープロジェクトをスタート。廃棄されているバナナ茎から、伝統的和紙技術を応用し、化学薬品不使用のバナナペーパーを生み出す。そのバナナペーパー(BP)を使ったMade in Rwandaのランプシェードを、現地のアーティスト達と共同で製品化。2017年3月、『ルワンダに灯った希望の光』を出版。現在、HAT de Coffee & Bananaの代表。



BPWとは……



BPWとはBusiness and Professional Womenの略で、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内および国外で働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的とした団体です。BPWInternationalには、100以上の国と地域が加盟し、会員数は約3万人、国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつNGOです。日本BPW連合会は、全国に16のクラブ・アソシエーツと個人会員からなり、BPW福岡クラブ「福岡虹の会」は1958年の発足、60年の歴史をもっています。